

専門家派遣実績

6回 8時間

団体概要

所在地 京都府京都市

代表者名 理事長

高島 由美

設立年 2015年

スタッフ数 1名

ボランティア 約60名

活動日数 週6日

<https://www.foodbankkyoto.com>

2022 年度活動実績

取扱量 25 トン

食料提供者 不明

食料提供先 不明

活動内容

京都市内を中心に福祉施設・団体、こども食堂などへの支援のほか、行政や社会福祉協議会などを通して緊急支援も取り組む。寄付された食料だけでなく、無償貸出の農地でスタッフが野菜の生産を行い支援に利用している。

助成金を最大限に活かす ガバナンス向上/新たな連携

NPO法人フードバンク京都



団体が直面していた課題

助成金採択後のサポート

昨年度は助成金申請にあたり、専門家のサポートのもと採用された。今年度は、その活用方法や報告業務へのサポートを希望し、同じ専門家の再派遣を依頼。

助成金終了後の資金

助成金は単年助成が多く、翌年以降の資金源に悩む。助成金を有効活用し、翌年以降に繋がるようにしたい。

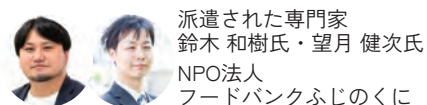
団体運営への不安

有給スタッフが少なく、団体の方向性などを話し合う場を持ちにくい。



▲スーパーからの寄贈食品で満載の車

専門家から見たポイント



派遣された専門家
鈴木 和樹氏・望月 健次氏
NPO法人
フードバンクふじのくに

ガバナンスの向上へ

助成金の報告業務は面倒であるものの、「活動を見られる」という意識を生む。これを機会と捉え、ガバナンスへの意識向上を助言。フードバンクでは必須の食品取扱に関する注意点（賞味期限内利用、スタッフに配らない等）の徹底や規程類の整備を促した。

また、助成金で有給職員を雇用したので、その力を整備に割くこともできる。この整備が翌年以降の体力となる。

新たな連携のチャンス

助成金受給はそれ自体がアピールポイントなので、期間中の行政や企業への積極訪問を促す。結果、地元のスーパーマーケットとの連携が決まり、新たにフードドライブを開始することに。

どんな変化が起きた？

食品寄贈量が増加

食品寄贈量が昨年度比135%へ増加。フードドライブも追加され、活動の幅が広がる結果に。

協議会への加盟申請

ガバナンスへの意識を継続して持ち続けることで、活動の基盤を強固にするために全国フードバンク推進協議会への加盟を申請。

新たな助成金を獲得

有給スタッフのおかげで活動に余裕ができ、認定NPO法人取得に向けた助成金を新たに獲得。

団体担当者より

専門家からのアドバイスを生かして行政等との関係づくりを積極的に行ったところ、新たな事業につながる情報交換ができました。

専門家派遣により、団体状況を実際に見ていただき、自分たちだけでは気付くことができなかった改善点や視点等をアドバイスいただきありがたい限りです。



理事 河本 恭子さん

フードバンクトピックス

チェック項目で食品管理

安全安心に食料の授受ができるよう、受け取り者との間で取り交わす書面や、団体における食料保管についてのチェック表等を作成し、具体的な確認項目を明示している。

事例 case study

1

NPO 法人 フードバンク京都

団体への信頼にもつながるチェック習慣

食品を届ける際に、受け取り者との間で「転売禁止」「賞味期限内に消費する」など、食品の衛生管理に関する注意事項について確認の上、受け渡しを行う。
繰り返し行われる行為だからこそ、形式的にならない丁寧なコミュニケーションのきっかけにも。

事例 case study

2

特定非営利活動法人フードバンク福岡

誰もが分かるチェック項目で意識向上

スタッフで共有できる衛生管理に関するチェック項目。
食品の種類によって変わる具体的な内容。

基礎セミナー動画

フードバンク団体が直面しやすい課題について、テーマにちなんだ専門家による基礎セミナーをオンライン実施。本事例集に掲載されている関連事例も合わせてご覧ください。

動画 movie

1

関口宏聡氏（NPO 法人セイエン代表理事）

活動の展開に合わせてNPO法人化を目指す

基礎セミナー ①

NPO法人化のスタートラインに立つ 円滑な設立プロセスと 効果的な運営の秘訣とは



講師

関口 宏聡
NPO法人セイエン 代表理事

テーマ

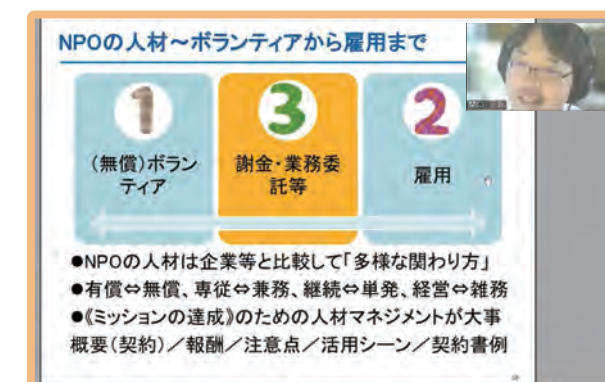


NPO 法人化
認定 NPO 法人化

内容の概要：

小規模から始めたフードバンク活動が発展するためには、より多くの協力者や資金が必要であり、持続的な活動に取り組むことが欠かせない。そのための一つのステップとして、NPO法人化に取り組む際に必要なポイントについて具体的に解説。

- 第1回：NPO法人の設立・解散と定款
- 第2回：NPO法人の年間運営と人材
- 第3回：NPO法人の認定取得と寄付税制



関連事例： P.26 NPO法人フードバンク奈良
認定取得で収入基盤強化へ 書類作成を支援



久保匠氏（日本ファンドレイジング協会法人連携推進パートナー）
千田領一郎氏（日本ファンドレイジング協会社会的インパクトセンターディレクター）

寄付だけではないつながりを生むファンドレイジング

※基礎セミナー②については、動画公開はありません

基礎セミナー ②

支援者との共感を生むメッセージづくり フードバンクを支えるための 効果的なファンドレイジング戦略の作り方



第1・3回講師

久保 匠
日本ファンドレイジング協会
法人連携推進 パートナー



第2回講師

千田 領一郎
日本ファンドレイジング協会
社会的インパクトセンターディレクター

テーマ



ファンドレイジング
戦略

内容の概要：

「ファンドレイジングは必要だけど何から考えたら良いのか、何から始めたら良いか分からない」という漠然とした悩みから抜け出し、具体的な手法に取り組むためのヒントを提供。具体的なファンドレイジング戦略を立てる手法を身につけることを目指す。

- 第1回：ファンドレイジング基礎
- 第2回：活動の成果測定と事業戦略
- 第3回：ファンドレイジング戦略



関連事例： P.11 NPO法人フードバンク渋谷
寄付集めチームを組成 支援者視点で寄付戦略を



米山廣明氏（一般社団法人全国フードバンク推進協議会代表理事）

戦略的に食品寄贈量を増やすには

基礎セミナー ③

食品寄贈量アップを目指す フードバンクが取り組む 3つの戦略的アプローチ



米山 廣明
一般社団法人全国フードバンク推進協議会
代表理事

・テーマ
食品寄贈量の増加

・内容の概要：
食品寄贈量を増やすための効果的な広報・発信、食品寄贈者を含めた地域連携、そして食品寄贈者の信頼を得るためのリスク管理という観点から食品寄贈量を拡大するための具体的な戦略と成功事例を解説。

・関連事例

P18 「一般社団法人鹿児島県フードバンクセンター」



大野覚氏（認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ常務理事・事務局長）
鈴木和樹氏（NPO法人フードバンクふじのくに事務局長）

自団体を知ること助成金申請のコツがわかる

基礎セミナー ④

助成金獲得への第一歩 フードバンク事業の企画立案のコツとは



大野 覚
認定NPO法人
茨城NPOセンター・コモンズ
常務理事・事務局長



鈴木 和樹
NPO法人
フードバンクふじのくに
事務局長

・関連事例

P38 「NPO法人フードバンク京都」

・テーマ
企画立案と助成金獲得

・内容の概要：
助成金に関する基礎知識から申請書の書き方のコツまで、実践的なスキルを学び、持続的に発展するための資金獲得を目指す。同時に自団体や活動について客観的理解を深め、資金提供者の意図に沿った事業の切り口や見せ方、説得力のある予算の計上方法などを考える。

基礎セミナー動画についてはこちらからご覧ください

▶<https://myfarm.co.jp/foodbank/jigyo/senmonka-haken/kenshu/>





事業概要

本事業について

農林水産省令和4年度フードバンク活動強化緊急対策委託事業（補正予算事業）

農林水産省令和4年度フードバンク活動強化緊急対策委託事業（補正予算事業）は、日本全国でフードバンク活動に取り組む団体の、活動基盤を底上げすることを目指すものです。

社会的な孤独・孤立の問題が深刻化するとともにエネルギー・食品等の物価高騰の影響が懸念されるなか、こども食堂や生活困窮者などへ食品を届けるフードバンクの役割が増しています。その一方で、

食品ロスの問題は世界的に大きくなっています。

本事業は、これらの課題に取り組むフードバンク団体の、活動基盤の強化を目的として実施されました。

本事業により各地のフードバンク活動が効果的に展開されることで、食品ロスの削減や、困窮世帯などへの適切な支援がより充実することを目指しています。

01 専門家派遣

申請のあった団体に事務局がヒアリングを実施。直面している課題に合わせ、さまざまな専門知識をもつ専門家をマッチングします。

実施内容

個別団体への派遣

運営基盤の強化や食料寄贈元の開拓など、フードバンク団体が抱える課題に強い専門家を派遣。必要なノウハウ獲得を促進し、活動基盤の強化や運営能力の向上を目指します。

情報交換会への派遣

ネットワーク強化事業で実施される情報交換会へ専門家派遣を行います。先進事例やノウハウなどを参加者に共有し、知識の底上げや視野の拡大に導きます。

事務受託

専門家からの運営助言を実行するために必要な事務業務を担う人材を派遣することで、専門家から提供された知見や助言を確実に運営改善につなげることを目的としています。

基礎セミナーの開催

団体に共通する課題について、専門家がオンラインで研修を行いました。研修の動画はウェブサイトでも公開を行いました。（P.43参照）

実施実績

派遣団体数 50 団体

マッチング数※ 93 件

派遣回数 484 回
(事務受託の派遣を含む)

派遣先団体拠点



※団体と専門家のマッチング数。一つの団体に複数の専門家が派遣されることもあるため、派遣団体数と異なる。

派遣された専門家の紹介

本事業で定められた基準を満たす専門家が全国へ派遣されました。登録された専門家61人のうち、その一部を紹介します。

地域間のネットワーク支援、災害復興支援



阿部知幸 氏
NPO法人フードバンク岩手
副理事兼事務局長

東日本大震災をきっかけに民間企業よりNPOの世界へ転身。被災者支援を継続する中で食料支援を開始し、2014年フードバンク岩手を設立。岩手県内の生活困窮者相談窓口からの緊急食料支援要請に対応。

団体運営支援、会計支援



大野覚 氏
認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ
常務理事・事務局長

ニューヨーク市立大学大学院バルーク校行政学修士NPO運営コース修了。市民活動の相談対応や行政の協働推進施策支援、企業のCSR活動支援のほか、NPO法人会計基準協議会の事務局等も担当。

資金調達、組織の意識改革



米山けい子 氏
認定NPO法人フードバンク山梨
理事長

元全国フードバンク推進協議会代表、消費者庁食品ロス削減推進会議委員、中央市子どもの貧困対策推進会議委員。山梨モデルとして行政との協働で「食のセーフティネット事業」を展開。

IT、労務のコンサルティング



徳長千普 氏
認飛鳥電子株式会社
代表取締役社長

IT・労務コンサルティング等の事業を専門的に行っている。特に個人事業主や個人向けの、業務効率化やパソコンスキルの向上の為にパソコンスクールを開催。ニーズに合わせたスキルを提供している。

webコンテンツ企画・制作



山下雄登氏

Web制作会社にて、ホームページやオウンドメディアの立ち上げ、Webコンテンツの企画・制作等を行う。現在は個人事業主として、映像制作や映像配信、写真撮影、Webコンテンツの企画・制作等を行う。

食品衛生・品質管理、物流、経営基盤の構築



岩崎幹明 氏
NPO法人フードバンク福岡
理事・事務局長

2017年度まで、(株)エフコープ・ライスセンタ-代表、産直委員会委員長、食品品質管理委員会委員長。2017年以降フードバンク福岡設立に伴う事務局として、設立登記、運営、経営基盤の構築、外部対応を実施。

新規団体設立支援、広報活動、企業との連携



奥平智子 氏
NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄
代表理事

フードバンク活動歴は16年。現在まで、100社以上の食品関連企業等との関係を築き、福祉や教育行政等などを通し、食品が必要な家庭や施設団体へ食品を届ける仕組みを構築。

行政連携、団体運営支援



鈴木和樹 氏
NPO法人フードバンクふじのくに
事務局次長

静岡県内の多くの団体と共に、フードバンクふじのくにを設立。静岡県内で食料支援を受けられる仕組みを構築する。行政や社会福祉協議会との協働が得意。生活困窮者支援団体POPOLO事務局長も務める。

NPO法人化、認定取得、政策提言



関口宏聡 氏
NPO法人セイエン
代表理事

NPO法制度改正や寄付税制拡充、中小企業支援施策のNPO法人への適用、新型コロナ支援等のロビイングに従事。フードバンク推進やケアラー支援、災害救助法改正等のアドボカシー活動支援にも携わる。

資金計画、事業戦略づくり

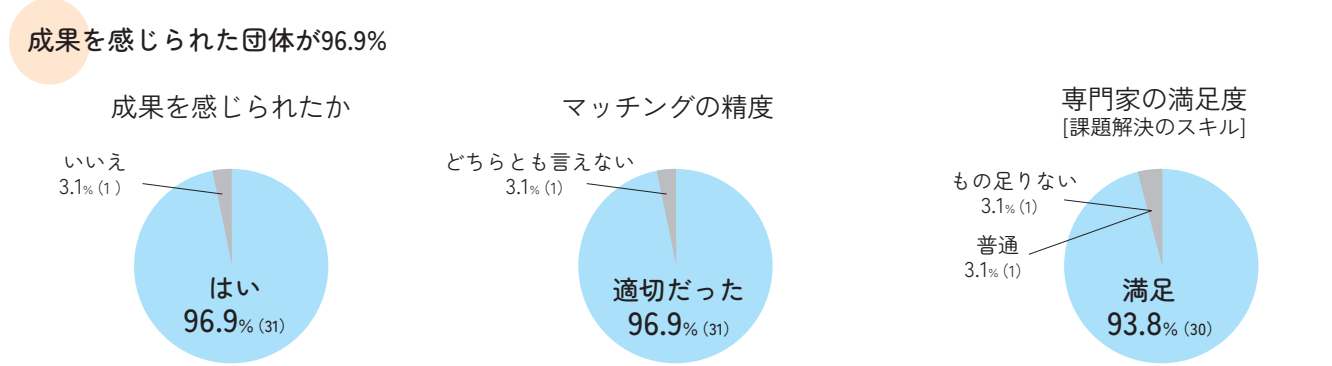


御手洗 薫 氏
(株)岡澤商店/一般社団法人こども宅食応援団

外資系IT企業で二度育児休職し、待機児童問題や病児保育問題などに直面した経験から、2017年認定NPO法人フローレンスに入社。2022年からは様々な団体向けに、ファンドレイジング支援なども行う。

実施後アンケート

専門家派遣終了後に団体へアンケートを実施し、以下の通り満足度の高い結果となりました。

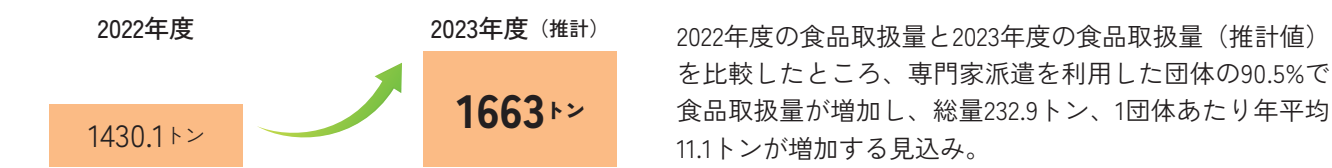


Q.専門家派遣を通じて得られた成果について、当てはまるものをすべてお答えください（複数回答可）
※回答数32、回答率76.2%、対象は個別団体への専門家派遣を利用した団体

資金調達による財務・資金繰りの改善	13	40.6%	運営スタッフやボランティアの確保・適切な配置	7	21.9%
中長期事業計画の作成	11	34.4%	法人格に関する検討点の解消		
広報・発信の強化(ウェブサイトやSNSの活用)	11	34.4%	(NPO法人化、認定取得など)	7	21.9%
事業運営・管理体制の強化			食品管理方法の改善	6	18.8%
(マニュアル作成・オペレーション標準化等)	11	34.4%	その他	5	15.5%
スタッフの知識・技能の向上(人材育成)	9	28.1%	フードバンク活動の開始準備	4	12.5%
新規の食品寄贈元(企業等)の開拓	7	21.9%	食品寄贈先(施設・困窮世帯等)の		
地域の行政や他団体との連携促進	7	21.9%	発掘・アウトリーチ	3	9.4%
経理・労務の仕組み化・改善	7	21.9%	成果を感じられなかった	1	3.1%

食品取扱量の増加

個別団体への専門家派遣を利用した団体を対象に食品取扱量アンケートを実施。
※回答数21、回答率56.8%、対象は個別団体への専門家派遣を利用した団体



アンケート内コメントの一部

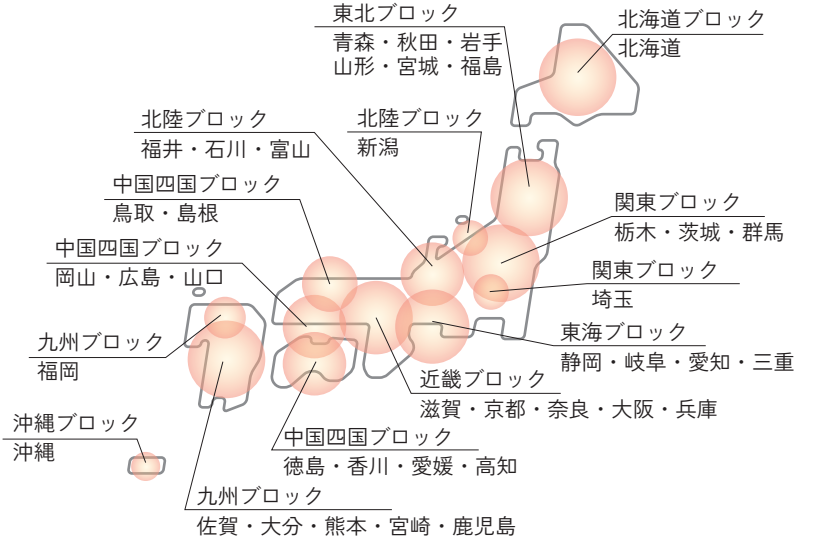
- ファンドレイジングの基本的な考え方ややり方を知ることができ、資金調達の必要性を団体内で共有し、メンバーの意識が変わってきました。企業への働きかけに注力した結果、寄付金の成果はまだ不十分ですが食品寄贈につながったケースもあります。
- 行政と当団体と専門家との意見交換会の後には行政から「事業化できるものがあるかもしれない。相談したい」との連絡がありました。
- 基盤強化のための新たな体制づくりに着手でき、継続可能な組織運営を学ぶことができ、的確な助言で地域の課題解決に取り組むことができました。その後も専門家派遣のおかげで運送会社からサポートの申し出があり感謝感激しています。
- フードバンク活動を行う上で団体のHPが大切と教えていただき、まず団体のHPの改良を行いました。改良を行ったことによりHPからの問い合わせも増えてきたように感じます。
- 安定した組織運営のために財務部門の体制を整えることと資金調達力の強化が必要でした。専門家派遣を活用したことで各部門の業務の棚卸しが進み、属人化している業務や作業分量が明らかになり、他の部門で力を発揮できていなかった優秀な人材の発掘をすることができました。部門横断で資金調達業務を推進する合意形成も取れました。
- ファンドレイジング用のチラシや企業訪問リストが作成でき、寄付金を得るための準備ができた。

02 情報交換会等の開催等

全国を14ブロックに分け、各地域のフードバンク団体同士が集い意見を交わし合う場(情報交換会等)を通じ、持続的・発展的なネットワークが構築・拡充することを目指します。

実施内容

全国9つの地域を右の通り14ブロックに細分化し、各地域ブロックを対象とした情報交換会の開催等事業を実施しました。



実施実績

各地域での情報交換会

合計 40 回開催



フードバンク中核団体向け集合研修

地域ブロックのネットワーク機能及びフードバンク中間支援機能を強化することを通じて地域ブロック内におけるフードバンク活動を活性化させる為に、東京にて中核団体向け集合研修を実施しました。

14の中核団体から各2名ずつのスタッフが参加し、計27名が参加しました(1名は体調不良にて欠席)。



農林水産省令和4年度フードバンク活動強化緊急対策委託事業（補正予算事業）
フードバンク活動事例集

令和6年3月発行

発行 株式会社マイファーム フードバンク活動強化事務局

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階

TEL : 075-746-6213

MAIL : foodbank@myfarm.co.jp

URL : <https://myfarm.co.jp/foodbank/>





農林水産省令和4年度フードバンク活動強化緊急対策委託事業（補正予算事業）

フードバンク活動事例集

株式会社マイファーム フードバンク活動強化事務局

